タイトル:被害状況チェックシートや 備蓄品リストによる共有

M



台 風

水 害



- 連携する事業者や従業員が多いため、「被害状況チェックシート」や 「備蓄品リスト」によって情報共有・管理を実施
- 感染症対策ガイドラインを作成し、連携事業者間で共有

BCP策定のきっかけ

- 同組合は卸団地開設前の1973年に設立。同組合は有田の陶磁器専門店を中心にショッピングモール「アリタセラ」を運営。
- 毎年数回台風が通過し、風害や一時的な豪雨被害が想定されたため、佐賀県中小企業団体中央会主催のBCP関連セミナーや説明会へ参加。これをきっかけに、組合員等の28者と連携した事業継続力強化計画の策定を検討。
- なお、年数回有田焼陶器市や茶わん祭り等のイベントを行っており、県外からの来店客が多いため、新型コロナウイルスの対応も含めた計画とした。

BCP策定時の課題と解決方法

- 連携事業者が多く、被災時の被害情報を迅速・ 的確に把握する方法に課題。このため、人や建 物・設備への被害など、被害全体を1枚で把握で きるよう「被害状況チェックシート」を作成。 被災時は各連携事業者が作成し、組合事務局が 集約し、その後連携事業者へ共有することで、 被害全容を把握できる体制を整備。
- 組合幹部や連携事業者代表のほか、従業員が200名以上いるため、内容の浸透が課題。このため、毎週月曜日開催の社長会にて連携事業者間の取組内容の調整や意見交換、情報交換、協力体制の確認を実施。また、社長会実施後は各連携事業者へメールで情報共有し、さらに従業員へ転送することで周知につなげている。

策定した内容

- 災害に備え、資機材を備蓄・管理するよう「備蓄品リスト」を作成。組合事務局・連携事業者で管理を分担。
 - <備品リスト例>

組合事務局:モバイルバッテリー、懐中電 灯、カセットコンロ、使い捨てカイロ等

連携事業者: 懐中電灯、飲料水等

● 災害もしくは感染症報告があった場合の指揮命 令体制、対策会議の体制、従業員連絡網(携帯 電話番号、メールアドレス)を整備。

- PCに保存する重要情報を別付けのハードディスクにバックアップし、さらに定期的にクラウド上にデータをバックアップ。
- 被災時・被災後の復旧等の際には、連携事業者間で相互に人員の融通を行う。
- 連携事業者間で年2回消防訓練を行い、災害発生 時の対応を従業員まで浸透。
- 組合事務局にて感染症対策ガイドライン(予防 策、感染者発症時の対応等)を作成し、連携事 業者間で共有。

BCP策定後の効果

- 情報共有体制を整備し、その内容の浸透を図った ことから、各連携事業者の防災意識が高まった。 また、連携事業者単独の計画策定にも繋がった。
- 殆どの連携事業者は、全国各地への有田焼供給の 役割を担っているため、災害時の代替輸送ルート の確保について物流業者と協議中。より運用に即 した計画になるよう見直しを行っている。



有田焼ショッピングモール「アリタセラ」



有田焼「匠の蔵」シリーズ「SAKEGLASS」

備蓄品	IJ	ス	ŀ
	備書	品	

備蓄品	組合	連携事業者	個数
懐中電灯	0	0	
乾電池	0	0	
モバイルバッテリー	0	0	
使い捨てカイロ	0	0	
裁縫道具	0		
ブルーシート	0		
カセットコンロ	0	0	
カセットガスボンベ	0	0	
ウエットシート	0	0	
ウォータータンク20L	0		
救急用品	0		
コードリール	0		
拡声器	0		
マスク	Ö	0	
消毒液	0	0	
飲料水(ベットボトル2L)	0	0	

備蓄品リスト

施	段名					被	書の日時		· pr	я	B;	19 3
所	在地					20	入者名					
被害	の種類	□ 地震	(変度) 🗆 🈕	災 (一都	・半焼	·全统[]	水害	(浸水・土	石流) 🗌	他(
A	的被害の	有無		無			有	GE#		人、西衛	ar	J.)
車	M			修繕(車種:	#	数:)	□ f	使用不能	車種:	台灣	ά:
	建物被制	の有無		##			有					
	立ち入り)		可 一部	可(二次被	害危险	ktru)	一部不	可(二次)	害の危険	あり、許可	必要 7
建物	沈下			無			有	(注物		cm. t	ER .	em)
**	傾斜			無			傑科小			【標料大	:	
	浸水			SH.			有	08.5	ic m.	地下班。日	ニットの床上	c m)
	電気			一時停電(20	分以内)		長時間	字電		通電不	可能	
	通信			電話-FAX(インター	1464)		
設備	展明器具	Į.		ランプの破損			不点灯			器具の	被損、落下	r.
個	PC·#	1辺機器		PC()		その他(21/20/20/20/20)	
	74-2			修繕(台数:			使用不信	能(台数	£)		
	自家給作	编设		()	
- 78	*			無			有	部位	[)
最中	も被害の 業務(自	大きな場所 由記載)										

	部位等	その				
屋根	風根	1	亀裂大	破損		
構造体	柱		表面剥離	知修()		
	22	□ ひび割れ (経的) mm	表面到維	1 (48年()		
	外聚	□ ひび割れ (幅約 mm	表面剝離	(484()		
	内壁	□ ひび割れ (幅的) mm	表面剥離	(組名()		
	30	□ ひび割れ (幅約 mm	表面単雜	(領約()		
内	天井	重下り	破損	落下		
装	*	ガラス等の破損	開閉が不自由	磁機		
睫	屋	ガラス等の破損	開閉が不自由	破損		
H	シャッター	開閉が不自由	被損	飛散		
35	フロア	浸水	浸水により通電、通信不	浸水により機器故障		
ft:	冷暖房状况	一時停止(20分以内)	長時間停止	治境房不可能		
蘇秋況	給水状況	一時順水(20分以内)	長時間膨水	館水不可能		
375	排水状况	オーバーフロー(20分以内)	長時間オーバーフロー	排水不可能		
9	ガスの状況	一時停止(20分以内)	長時間供給停止	供給不可能 漏れ		
0.445	門・ヘロ	しひび割れ	開閉が不自由	破損, 転倒		
	横内舗装	1	亀型大	解设、冠水		
外細	排水桝	□ 排水不良 □	沈下(約 cm)			
en.	電柱・外灯	□ ランプの破損	不点灯	破損、転倒		
	樹木	□ 類斜小	煤料大	Ø元(計)		
その他	()	П ()		
	()	П ()		
	())		
66	É					

被害状況チェックシート

【組合概要】

組合名:有田焼卸団地協同組合

所 在:佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙2351-170

出資金: 2,112万円 従業員数: 4名 業 種:協同組合

組合HP: https://www.arita.gr.jp/history/

活用施策

- · 連携事業継続力強化計画
- 佐賀県中小企業団体中央会の 中小企業BCP策定支援事業
- ・(独)中小企業基盤整備機構の 専門家派遣事業